

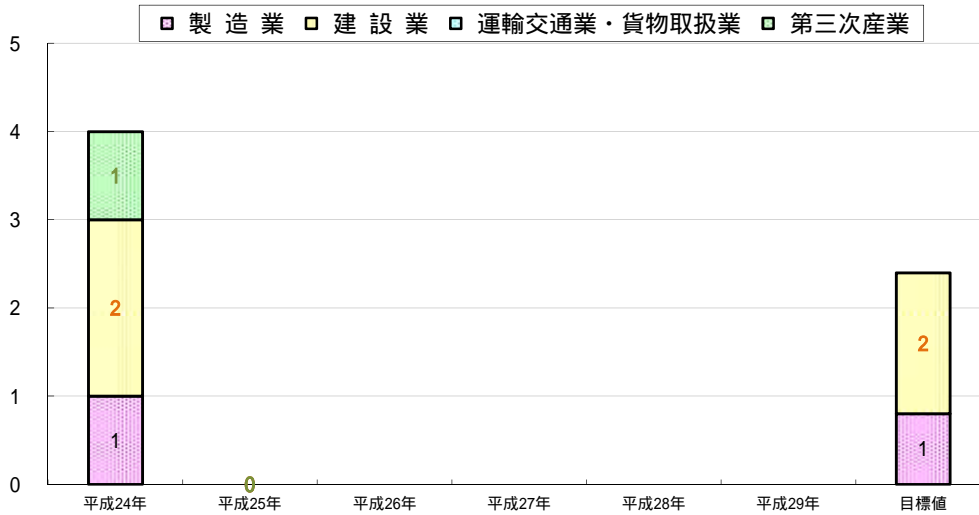
第1 2次労働災害防止計画（平成25年～平成29年）

青梅労働基準監督署

目標

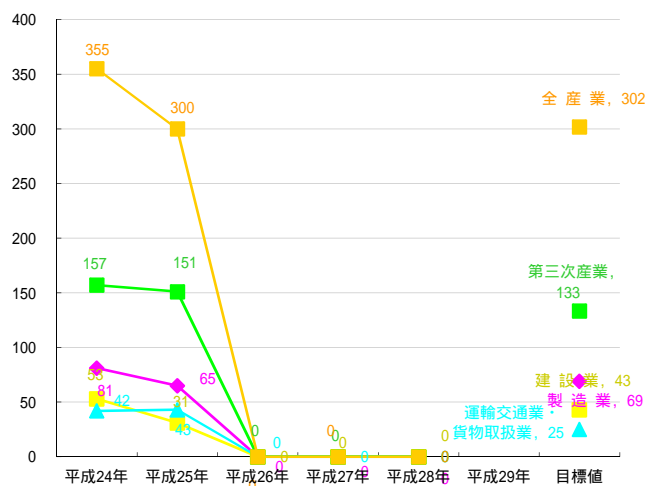
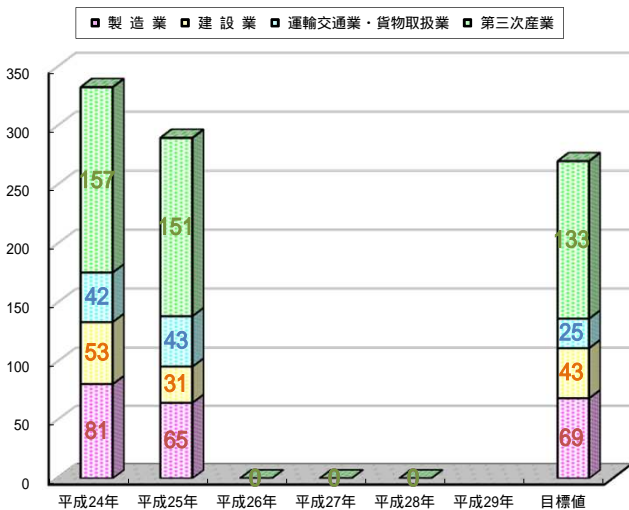
死亡災害：目標値（平成29年）は平成24年の数値の15%減少した値とする。
 死傷災害：目標値（平成29年）は平成24年の数値の15%減少した値とする。

1 死亡災害



	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	目標値	平成25～29年
製造業	1	0					1	0
建設業	2	0					2	0
運輸交通業・貨物取扱業		0					0	0
第三次産業	1	0						0
全産業	4	0					3	0

2 死傷災害



	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	目標値	平成25～29年
製造業	81	65					69	65
建設業	53	31					43	31
運輸交通業・貨物取扱業	42	43					25	43
第三次産業	157	151					133	151
以外の業種	22	10					19	10
全産業	355	300					302	300

第12次労働災害防止計画の初年度について(平成25年度取りまとめ)

平成25年度の全産業の労働災害発生件数は死亡災害がゼロであり、休業4日以上之死傷災害は、300件となり、既に期間目標値以下となる件数である。業種別では製造業と建設業と以外の業種で期間目標値以下となっている。従来景況感が高くなると比例して災害傾向が高くなるが、大幅に災害件数が減少した。特に製造業と建設業の業種で大きく減少している点は、リスクアセスメントに倣う予防活動の浸透がなされてきている面があるものと思料される。しかしながら本年に入っては、大雪の影響による災害が増加しており、引き続き災害防止対策の推進を図っていく。